

◎ MCI を評価する簡易スクリーニング方法

認知症治療においては、早期発見、早期治療が大きな鍵をにぎっているが、認知症の段階階とされるMCIを評価する簡易スクリーニングはありますか？ MRIやPET検査ができない施設でもスクリーニングする方法があればご教示ください。また、これらの患者とどのように向き合うべきか（今後の治療方針など）ご教示ください。

（宮城県・森 るり子、内科）

回答 筑波大学大学院人間総合科学研究科

ヒューマン・ケア科学専攻

健康社会学・ストレスマネジメント分野

教授 水上勝義

MCI (Mild Cognitive Impairment : 軽度認知障害) は、アルツハイマー病 (AD) の前駆状態を意識して提唱された概念ですが、現在では、認知機能は低下しているが認知症の診断に

は至らない状態を広く包含しています。認知症の診断基準は満たさない、本人や家族から認知機能の低下に関する訴えがきかれるが、基本的な日常生活機能は自立している、複雑な日常生活機能の障害は軽度にとどまる状態と定義されます。65歳以上の住民のおよそ5～10%が該当し、診療機関を受診しMCIと診断された方は年に10～15%の割合でADに進行するといわれています。

現在MCIは、記憶障害の有無と、他の認知領域（言語、遂行機能、視空間認知など）の障害の有無によって、健忘型MCI-single domain、健忘型MCI-multiple domain、非健忘型MCI-single domain、非健忘型MCI-multiple domainの4つのタイプに分類され、健忘型MCIにADの前駆例が多く含まれます¹⁾。さてMCIの診断には、本人自らの訴えや本人をよく知る家族や職場の同僚などからの情報提供が最も重要ですが、補助診断として神経

心理検査や重症度の尺度を用いることがあります。

MCIの診断に用いる検査や尺度にとくに規定はありませんが、Clinical Dementia Rating (CDR) は有用な尺度の一つです。Hughes²⁾らが提唱し、その後、日本語版が作成されています。

記憶、見当識、判断や問題解決能力、社会生活の活動、家庭生活や趣味、身の回りの世話の6項目から構成されており、それぞれの項目について正常から高度の障害までの5段階で評価します。そして、6項目につけられたスコアのパターンから認知症の重症度が導き出されます。

重症度がCDRO (正常)とCDRI (軽度認知症)の境界にある状態がCDRO・5 (questionable dementia: 認知症の疑い)、すなわちMCIに該当します。ちなみに記憶の障害における0・5は、軽度ながら一貫した物忘れがみられるが、物忘れの特徴は良性の物忘れと定義されています。記憶の障害の程度が0・5であれば、

認知症の重症度は少なくとも0・5(MCI)以上となります。また記憶の障害の程度が0であっても、記憶以外の2つ以上のカテゴリで障害が0・5以上であれば、認知症の重症度も0・5となります。

また、Reisberg³⁾らが提唱した認知症の重症度分類であるGlobal Deterioration Scale for Assessment of Primary Degenerative Dementia (GDSD)では、認知症の進行過程をStage 1の正常から高度認知症のStage 7までの7段階に分類し、それぞれの臨床像について具体的に記載されています。彼らはStage 3をMCIと呼び、旅先など慣れない場所まで道に迷う、本人の仕事遂行能力がこれまでより低下したことに周囲が気づく、言葉や名前に関する喚語困難に周囲が気づく、大切なものをどこかにしまい忘れるなどをあげ、詳細な検討で記憶障害が明らかとなると説明しています。

MMSE (Mini Mental State Examination) や

改訂長谷川式簡易知能評価スケールなどの認知症のスクリーニングテストはMCIの診断には使えないので、現在のところ前述したような重症度分類を利用するのが有用と思います。

MCIの対応

残念ながら、MCIからADへの進行を確実に予防する方法は存在しません。またMCIに対する治療薬もありません。したがってMCI患者に対する現実的な対応として、認知症発症リスクと考えられている高血圧、糖尿病、肥満、心疾患などの生活習慣病に対する指導や治療が重要になります。また栄養バランス良好な食事摂取、定期的な運動、知的余暇活動など、健康的な生活習慣のアドバイスも行います。

患者や家族の不安への配慮も大切で、「認知症とは診断されないが、年齢相応の認知機能よりは低下しているグレイゾーンにあります。認知症に進行する危険性は1年で1割程度ですが、

進行しない場合や回復する場合があります」となどと説明します。経過をみるなかで進行性の経過を示しADの初期と考えられる例では、アリセプト[®]などのコリンエステラーゼ阻害剤の治療開始を検討します。

文献

- (1) Petersen RC, Morris JC: Mild cognitive impairment as a clinical entity and treatment target. *Arch Neurol*, 62, 1160-1163 (2005)
- (2) Hughes CP, et al: A new clinical scale for the staging of dementia. *Br J Psychiatry*, 140, 566-572 (1982)
- (3) Reisberg B, et al: The global deterioration scale for assessment of primary degenerative dementia. *Am J Psychiatry*, 139, 1136-1139 (1982)